

京都精華大学

大学案内・1983

男女共学





グランド

7号館

- 立体造形実習室
- 洋画実習室
- デッサン室

6号館

- 染織実習室

5号館

- 日本画・マンガ実習室
- 基礎課程実習室

4号館

- 陶芸実習室 ● 木工・木版室

2号館

- デザイン実習室
- 版画実習室

3号館

- 英語英文科講義室
- 講義室

1号館

- 英語英文科講義室
- L.L. タイプ室

本館

- 事務局
- 学生ホール

新館

- 図書館
- 英語英文科講義室
- 講義室

演習場

セミナー館

- 英語英文科講義室

食堂

京福電鉄「鞍馬」線

感動するというと、感動をあたえるものを考えるのが普通のように思います。たとえば一篇の映画であったり、ノンフィクションであったり、マンガであったり、あるいは一通の手紙であったり、その他さまざまなものがあり得るでしょう。風景に感動することもあります。

それなら、それはその映画が、あるいは風景がすばらしいから感動をあたえるのでしょうか。あたり前であって、すばらしくなければ心を動かされることはないといわれるかもしれません。しかし、次のようなことがあります。ある作品があって、ひとりの人はそれによって強く心を動かされたけれども、もうひとりの人はそれ程でもなかった。こうした場合、はじめの人は作品のすばらしさのわかる人で、あとの人はわからない人ということになるのでしょうか。岡本太郎さんがこういう体験を語っています。若いときバリバリだった岡本さんは、ルーヴルで一点のセザンヌの作品に出会って、かつて体験したことのないような感動を覚えたそうです。何故だか涙がでた程にも心をゆり動かされたといっています。そ

れからかなりたつて同じセザンヌを見たときには、どうしてそれにあんなに感激したかふしぎに思う程に心を動かされることになかったというのです。

岡本さんを感動させたセザンヌの作品がすばらしいというのであれば、二度目にそれを見たとき心を動かされなかったのは、岡本さんがそのすばらしさに鈍感になってしまったということを物語るのでしょうか。岡本太郎さんは、セザンヌの作品がすばらしいとかすばらしくないというのはどうでもよい、大事なものは、自分が一度それに真から感動したという事実だといっています。

私流のいい方をすれば、すばらしいから感動するのでなく、感動したものはすばらしいということになるのでしょうか。つまり、感動するというのは、タイミングのよい出会いのようなものだと思います。そのタイミングがずれるとセザンヌの作品といってもなんということはない。一篇の映画に感動するというのは、その映画との出会いのタイミングがよかったです。ある作品をひとりの人がすばらしいといい、もうひとりの人がそうでもないという先程述べたよ

うな現象がうまれるのは、二人の人と作品との出会いのタイミングのちがいがかなり大きく作用しているように思います。

作品ばかりでなく、友人との出会いも大事ですが、タイミングのよい出会いを多くもつことが、自分をつくってゆくということにとつて欠かせないように思われます。何故ならそうした出会いによって、自分が少しずつ、あるいは大きく変わるからです。大学の学生生活は、そういう出会いの豊かな可能性をもっています。あるいは、そうあってほしいと思います。

学長ノ江戸頌昌



学科課程概要

もくじ

3 一般教育

6 図書館

8 短期大学部・英語英文科

18 美術学部

28 美術展

30 アッセンブリー・アワー

32 学寮

34 卒業後の進路

36 キャンパスライフ

37 朽木学舎

44 教員組織

46 教職員紹介

表6 大学への交通案内

一般教育

中国の明の時代の画家董其昌はその画論で絵の真髄たる気韻生動の実現は「万巻の書を読み、万里の路を行く」ことで可能になる、と述べています。このことを一般化していえば、専門を極めるには、その土台に高い教養の蓄積を要する、ということでありましょう。

大学の教育はいうまでもなく専門の学術、技芸を修めることにありますが、戦後の大学教育では専門の教科と並んで一般教養の科目を必修としています。それは今日の学問や技芸がますます分科し専門化する傾向があつて、ともすると狭い範囲にとじこもつてしまうおそれがあり、一方、今日の専門は他の専門分野とか、わりをもつ性格が増大してきているというような事情から、専門を修める者により広い視野をもつことが要請され、このことが大学教育で一般教養の履修を必須とするにいたつた理由かと思ひます。

もつとも戦前の高等教育でも、大学教育の前段階に旧制高校や大学予科がおかれ、

大学の専門へ進む前に専ら教養の教育を行うことになっていました。さらにさかのぼればヨーロッパの中世の高等教育では七自由科(三学||文法・論理学・修辞学、四術||算術・幾何・天文・音楽)が哲学や神学、法学、医学等の専門と並んで教養の学問として重んぜられていました。戦後の大学の一般教養科目はリベラル・アーツでその淵源は七自由科あたりにあります。東洋でも中国周代に起った六芸(礼・楽・射・御・書・数)がリベラル・アーツに相当し、教養のよりどころとされてきました。

戦後の大学では戦前のような教養教育中心の大学予科や旧制高校がなくなり、専ら、専門と教養を併せて行うことになり、一般教養科目を人文・社会・自然の三分野で構成することになりました。この三分野の内容をどのように選択し、組織するかは各大学の創意にまつとところが大きく、私どもも大学でも絶えず検討を加え研究を重ねてきています。その一端をあげれば、多数学生を対象とするA群の科目とゼミに近い

形で小教養学生を対象とするB群の科目をおき、後者では教授と学生が主題につき、共に研究してゆく方法をとっています。

五七年度の講義の一、二の例を示しますと、笠原芳光教授の倫理学Aでは十九〜二十世紀欧米の思想家、文学者、社会運動家、芸術家から特定の人物をとりあげその生涯と作品について学ぶ。一人物につき一回は教授の講義、一回は学生の発表にあて、トルストイ『民話集』、ロダン『ロダンの言葉』、D・H・ロレンス『チャタレー夫人の恋人』、カフカ『変身』、ソーロー『森の生活』、チェホフ『桜の園』、ゴッホ『ゴッホの手紙』、ボードレール『パリの憂鬱』、プーバー『我と汝』、クロボトキン『ある革命家の手記』、他にニーチェ、キルケゴールがとりあげられています。いま一つあげますと、経済学Aは本年度専任として迎えられた、タイの少壮経済学者クントン・インタラタイ教授の「現代の社会と経済を考える」という講義で、日本及び先進国と第三世界の経済の問題点を討論し、南北問題について研究し

てゆくことになっています。また、レベッカ・ジェニンソン講師は文学Bで「二十世紀初期の文学と芸術運動」をテーマに、英語や日本語の資料を使いながら、二十世紀初期の革命的芸術運動、Constructivism、German Expressionism、Bauhausをとりあげ、スライドを使用し、学生は好きな画家やテーマを選んでレポートすることになっています。

以上のほかに、保健理論と体育実技があり、広い国際性を培うためにフランス語、朝鮮語などの外国語の講座がおかれています。



教職課程

教育原理	2単位
教育心理学	2単位
教育社会学	2単位
道徳教育の研究	2単位
教科教育法	2単位
教育実習	2単位

●上記の科目を含めて、必要な単位を履修した者には中学校2級普通免許状(英語)が与えられる。

教育原理	4単位
教育心理学	4単位
教育史	2単位
教育社会学	2単位
道徳教育の研究	2単位
教科教育法	4単位
教育実習	2単位

●上記の科目を含めて必要な単位を履修した者には中学校1級・高等学校2級(美術)普通免許状が与えられる。

